

沼倉正吾 (ぬまくら しょうご)

Symmetry Dimensions Inc. (シンメトリー・ディメンションズ・インク)

CEO



テーマ

オープンデータを活用したデジタルツイン構築と 3次元流体解析の取り組み

発表概要

2021年より国土交通省、東京都、各地方自治体などで様々なオープンデータの公開が始まりました。現実世界の情報をもとに双子のデジタル世界を構築する技術「デジタルツイン」は、これらオープンデータとインターネット上のさまざまなAPIを如何に活用するかがこれからのポイントとなります。この度、弊社ではデジタルツイン構築を可能にするプラットフォーム「SYMMETRY Digital Twin Cloud」を発表しました。今回は、㈱環境シミュレーション様とSYMMETRYで取り組んでいるオープンデータを活用した3次元流体解析の取り組みをご紹介します。

自己紹介

2014年、Symmetry Dimensions Inc. (旧社名：DVERSE Inc.) を米国に設立。現実世界の事象をデジタルで再現し、誰もが簡単にアクセスすることを可能にするデジタルツイン・プラットフォーム「SYMMETRY (シンメトリー)」を開発している。EY Innovative Startup 2017、WIRED Audi INNOVATION AWARD 2017 受賞、他。